

優良現場の紹介

1. 表彰年度：平成24年度
2. 事業場名：清水・堀口特定共同企業体 こばやし峠トンネル作業所
3. 工事名：社会資本整備総合交付金事業 道道西野真駒内清田線（こばやし峠）トンネル新設工事
4. 発注者名：札幌市 建設局 土木部 工事課
5. 工期：平成23年10月11日～平成28年3月25日

6. 工事概要：

道道西野真駒内清田線のこばやし峠区間は、急勾配・急カーブが連続し、特に冬期間は道路環境の悪化が著しい。当事業は、安全で円滑な交通を確保し、都心・市街地を迂回する環状線の機能強化を目的として整備するものである。本工事は、2.8kmの整備事業区間のうち、延長1,612mの道路トンネル工事であり、札幌市内南西に位置する山岳部を貫く。

施工場所：北海道 札幌市



こばやし峠トンネル

7. 表彰の対象となった具体的内容

1) 火薬類の保安管理体制

安全掲示板に火薬類専用掲示板のスペースを設定し、火薬類管理に関する作業所長方針や公募した優秀標語等、さらに「発破作業の安全ポイント」や「火薬類KYシート」を大きく掲示し、保安管理に対する動機付けが常に行われている。

2) 爆薬庫・火工品庫・取扱所・火工所

WEBカメラを利用した24時間監視・録画システムを構築し、事務所で状況を確認して管理されている。自動警報装置作動時は、事務所への警報のみならず、保安責任者等の携帯電話への即時転送による管理が行われている。

3) 発破場所の管理

点火場所内には点火前の確認事項や発破後の立入禁止時間等を明示し、安全確認の周知徹底に努めている。装薬前の防じんマスクの電池回収ルールも明確に示し、回収責任者も任命している。ドリルジャンボには「除電棒 火薬取扱前にはこれにタッチ」の注意喚起看板とESバーを設置して、装薬作業前の静電気除去を徹底して事故防止に努めている。

